

様式第 1 (第 4 条関係)

特定施設設置 (使用、変更) 届出書

年 月 日

都道府県知事
市長 殿届出者 氏名又は名称及び住所並びに法人
人にとってはその代表者の氏名 印

ダイオキシン類対策特別措置法第12条第1項 (第13条第1項又は第2項、第14条第1項) の規定により、特定施設について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称		整理番号	
工場又は事業場の所在地		受理年月日	年 月 日
特定施設の種類		施設番号	
特定施設の構造	大気基準適用施設にあつては別紙 1、水質基準対象施設にあつては別紙 4 のとおり。	審査結果	
特定施設の使用の方法	大気基準適用施設にあつては別紙 2、水質基準対象施設にあつては別紙 5 のとおり。	備考	
発生ガス又は汚水若しくは廃液の処理の方法	大気基準適用施設にあつては別紙 3、水質基準対象施設にあつては別紙 6 のとおり。		

- 備考
- 1 特定施設の種類の欄には、大気基準適用施設にあつてはダイオキシン類対策特別措置法施行令別表第 1、水質基準対象施設にあつては同令別表第 2 に掲げる号番号及び名称を記載すること。
 - 2 印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
 - 3 印の欄には、記載しないこと。
 - 4 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
 - 5 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本工業規格 A 4 とすること。
 - 6 氏名 (法人にあつてはその代表者の氏名) を記載し、押印することに代えて、本人 (法人にあつてはその代表者) が署名することができる。

特定施設（大気基準適用施設）の構造

工場又は事業場 における施設番号			
特定施設号番号及び名称			
型 式			
施設の設置場所			
設置年月日		年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日		年 月 日	年 月 日
工事完成予定年月日		年 月 日	年 月 日
使用開始予定年月日		年 月 日	年 月 日
規	原料の処理能力 (t/h)		
	変圧器の定格容量(KVA)		
	炉の容量 (t)		
模	焼却能力 (kg/h)		
	火床面積 (m ²)		
その他参考と なるべき事項			

- 備考 1 設置届出の場合には工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 規模の欄には、令別表第1に掲げる施設に係る項目について記載すること。
- 3 特定施設の構造図とその主要寸法を記入した概要図を添付のこと。

特定施設（大気基準適用施設）の使用の方法

工場又は事業場 における施設番号			
使用状況	1日当たりの使用 時間及び月使用 日数等	時 ~ 時 日 / 月	時 ~ 時 日 / 月
	季節変動		
原料及び 燃料 (ダイオキ シン類の発 生に影響の あるものに 限る。)	種類		
	使用割合		
	原料又は燃料中 の塩素分の成分 割合(%)		
	1日の使用量		
排出ガス量 (m ³ / h)		最大 通常	最大 通常
排出ガス温度 ()			
排出ガス中の酸素濃度(%)			
排出ガス中のダイオキシン 類の濃度(ng-TEQ / m ³ N)		最大 通常	最大 通常
その他参考となるべき事項			

- 備考 1 排出ガス量については、温度が零度であって圧力が1気圧の状態（以下「標準状態」という。）における量に、排出ガス中のダイオキシン類の濃度については、標準状態における排出ガス1立方メートル中の量に、それぞれ換算したものとす。
- 2 ダイオキシン類の濃度は、乾きガス中の濃度とすること。
- 3 「その他参考となるべき事項」の欄には、排出ガスの排出状況に著しい変動のある施設についての一工程中の排出ガス量の変動の状況を記載のこと。

発生ガスの処理の方法

工場又は事業場における施設番号		
名称及び型式		
発生ガスの処理の内容		
処理の系統		
施設の設置場所		
設置年月日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	年 月 日	年 月 日
工事完成予定年月日	年 月 日	年 月 日
使用開始予定年月日	年 月 日	年 月 日
その他参考となるべき事項		

- 備考 1 設置届出の場合には工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 発生ガスの処理に係る施設の構造図とその主要寸法を記入した概要図を添付すること。

特定施設（水質基準対象施設）の構造

工場又は事業場における施設番号		
特定施設号番号及び名称		
型 式		
構 造		
主要寸法		
能 力		
配 置		
設 置 年 月 日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	年 月 日	年 月 日
工事完成予定年月日	年 月 日	年 月 日
使用開始予定年月日	年 月 日	年 月 日
その他参考となるべき事項		

- 備考 1 配置の欄には、当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。
- 2 設置届出の場合には工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。

特定施設（水質基準対象施設）の使用の方法

工場又は事業場における施設番号				
設置場所				
操業の系統				
使用時間間隔				
1日当たりの使用時間				
使用の季節的変動				
原材料（消耗資材を含む。）の種類、使用方法及び1日当たりの使用量				
汚水又は廃液の汚染状態	通常	最大	通常	最大
汚水等の量 (m^3 /日)	通常	最大	通常	最大
その他参考となるべき事項				

汚水等の処理の方法

工場又は事業場における施設番号									
処理施設の設置場所									
設置年月日		年 月 日		年 月 日		年 月 日		年 月 日	
工事着手予定年月日		年 月 日		年 月 日		年 月 日		年 月 日	
工事完成予定年月日		年 月 日		年 月 日		年 月 日		年 月 日	
使用開始予定年月日		年 月 日		年 月 日		年 月 日		年 月 日	
種類及び型式									
構造									
主要寸法									
能力									
処理の方式									
処理の系統									
集水及び導水の方法									
使用時間間隔									
1日当たりの使用時間									
使用の季節変動									
消耗資材の1日当たりの用途別使用量									
汚水等の汚染状態及び量		通常		最大		通常		最大	
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後
	量 (m ³ /日)								
残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法									
排出水の排出方法									
その他参考となるべき事項									

- 備考 1 設置届出の場合には工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 排出水の排出方法の欄には、排水口の位置及び数並びに排出先を含め記載すること。

様式第2（第5条関係）「受理書」

省 略

様式第3（第6条関係）

氏名等変更届出書

年 月 日

都道府県知事 殿
市 長

届出者 氏名又は名称及び住所並びに法人にあってはその代表者の氏名 印

氏名（名称、住所、所在地）に変更があったので、ダイオキシン類対策特別措置法第18条の規定により、次のとおり届け出ます。

変更の内容	変更前		整理番号	
	変更後		受理年月日	年 月 日
変更年月日		年 月 日	施設番号	
変更の理由			備考	

- 備考
- 1 印の欄には、記載しないこと。
 - 2 用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
 - 3 氏名（法人にあってはその代表者の氏名）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあってはその代表者）が署名することができる。

様式第4（第6条関係）

特定施設使用廃止届出書

年 月 日

都道府県知事 殿
市 長

届出者 氏名又は名称及び住所並びに法人にあってはその代表者の氏名 印

特定施設の使用を廃止したので、ダイオキシン類対策特別措置法第18条の規定により、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称		整理番号	
工場又は事業場の所在地		受理年月日	年 月 日
特定施設の種 類		施設番号	
特定施設の設置場所		備 考	
使用廃止の年月日	年 月 日		
使用廃止の理由			

- 備考 1 印の欄には、記載しないこと。
2 用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
3 氏名（法人にあってはその代表者の氏名）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあってはその代表者）が署名することができる。

様式第5（第7条関係）

承 継 届 出 書

年 月 日

都道府県知事 殿
市 長

届出者 氏名又は名称及び住所並びに法人にあってはその代表者の氏名 印

特定施設に係る届出者の地位を承継したので、ダイオキシン類対策特別措置法第19条第3項の規定により、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称		整理番号		
工場又は事業場の所在地		受理年月日	年 月 日	
特定施設の種 類		施設番号		
特定施設の設置場所		備 考		
承 継 の 年 月 日				年 月 日
被承継者	氏名又は名称			
	住 所			
承 継 の 原 因				

- 備考 1 印の欄には、記載しないこと。
 2 用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
 3 氏名（法人にあってはその代表者の氏名）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあってはその代表者）が署名することができる。

様式第6（第8条関係）

ダイオキシン類測定結果報告書

年 月 日

都道府県知事 殿
市 長

報告者 氏名又は名称及び住所並びに法人にあってはその代表者の氏名 印

ダイオキシン類による汚染の状況について測定したので、ダイオキシン類対策特別措置法第28条第3項の規定により、次のとおり報告します。

表1 大気基準適用施設

採取年月日及び時刻 (開始時刻～終了時刻)	排出ガス量 (m ³ N/日)	排出ガス中の酸素濃度(%)	測定箇所	特定施設の名称及び使用状況	分析年月日	測定結果 (ng-TEQ/m ³ N)	試料採取者	分析者	備考

表2 水質基準適用事業場

採取年月日及び時刻	測定場所		特定施設の名称及び使用状況	分析年月日	測定結果 (pg-TEQ/l)	採水者	分析者	備考
	名称	排水量 (m ³ /日)						

- 備考
- 1 報告書及び別紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
 - 2 測定結果については、第3条に基づき、別紙を用いて毒性等量を算出し、その結果を記載するとともに、別紙を添付するものとする。
 - 3 2以上の測定結果がある場合は、添付する別紙のそれぞれとの対応関係がわかるように備考欄に記載すること。
 - 4 大気基準適用施設にあっては表1、水質基準適用事業場にあっては表2に記載すること。
なお、同一届出者が大気基準適用施設及び水質基準対象施設をともに設置している場合には、併せて1葉の様式に記載すること。
 - 5 排出ガス量については、温度が零度であって圧力が1気圧の状態（以下「標準状態」という。）における量に、測定結果については、標準状態における排出ガス1立方メートル中の量に、それぞれ換算したものとする。
 - 6 2以上の水質基準対象施設を設置し、異なる排水系統を有する水質基準適用事業場にあっては、それぞれの排水系統の排水口ごとに測定を行い、結果を記載すること。
 - 7 氏名（法人にあってはその代表者の氏名）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあってはその代表者）が署名することができる。

様式第6（第8条関係）

ダイオキシン類測定結果報告書

年 月 日

都道府県知事 殿
市 長

届出者 氏名又は名称及び住所並びに法人にあってはその代表者の氏名 印

ダイオキシン類による汚染の状況について測定したので、ダイオキシン類対策特別措置法第28条第3項の規定により、次のとおり報告します。

表1 大気基準適用施設

採取年月日及び時刻 (開始時刻 終了時刻)	排出 ガス量 (m ³ N /日)	排出 ガス中 の酸素 濃度(%)	測定 箇所	特定施設の 使用状況	分析年月日	測定結果 (ng-TEQ / m ³ N)	試料 採取者	分析者	備考

表2 水質基準対象施設

採取年月日 及び時刻	測定場所		特定施設の 使用状況	分析年月日	測定結果 (pg-TEQ/l)	採水者	分析者	備考
	名称	排水量 (m ³ /日)						

- 備考
- 1 報告書及び別紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
 - 2 測定結果については、第3条に基づき、別紙を用いて毒性等量を算出し、その結果を記載するとともに、別紙を添付するものとする。
 - 3 2以上の測定結果がある場合は、添付する別紙のそれぞれとの対応関係がわかるように備考欄に記載すること。
 - 4 大気基準適用施設にあっては表1、水質基準対象施設にあっては表2に記載すること。
なお、同一届出者が大気基準適用施設及び水質基準対象施設をともに設置している場合には、併せて1葉の様式に記載すること。
 - 5 排出ガス量については、温度が零度であって圧力が1気圧の状態（以下「標準状態」という。）における量に、測定結果については、標準状態における排出ガス1立方メートル中の量に、それぞれ換算したものとす。

測定したダイオキシン類の構成

整理番号		実測濃度	試料における 定量下限	試料における 検出下限	毒性等 価係数	毒性等量
ポリ塩化ジベンゾフラン	2,3,7,8-TeCDF				0.1	
	1,2,3,7,8-PeCDF				0.05	
	2,3,4,7,8-PeCDF				0.5	
	1,2,3,4,7,8-HxCDF				0.1	
	1,2,3,6,7,8-HxCDF				0.1	
	1,2,3,7,8,9-HxCDF				0.1	
	2,3,4,6,7,8-HxCDF				0.1	
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDF				0.01	
	1,2,3,4,7,8,9-HpCDF				0.01	
	OCDF				0.0001	
Total PCDFs	-	-	-	-		
ポリ塩化ジベンゾシン	2,3,7,8-TeCDD				1	
	1,2,3,7,8-PeCDD				1	
	1,2,3,4,7,8-HxCDD				0.1	
	1,2,3,6,7,8-HxCDD				0.1	
	1,2,3,7,8,9-HxCDD				0.1	
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDD				0.01	
	OCDD				0.0001	
	Total PCDDs	-	-	-	-	
Total (PCDFs+PCDDs)		-	-	-	-	
コプラナーPCB	3,4,4',5-TeCB(#81)				0.0001	
	3,3',4,4'-TeCB(#77)				0.0001	
	3,3',4,4',5-PeCB(#126)				0.1	
	3,3',4,4',5,5'-HxCB(#169)				0.01	
	2',3,4,4',5-PeCB(#123)				0.0001	
	2,3',4,4',5-PeCB(#118)				0.0001	
	2,3,3',4,4'-PeCB(#105)				0.0001	
	2,3,4,4',5-PeCB(#114)				0.0005	
	2,3',4,4',5,5'-HxCB(#167)				0.00001	
	2,3,3',4,4',5-HxCB(#156)				0.0005	
2,3,3',4,4',5'-HxCB(#157)				0.0005		
2,3,3',4,4',5,5'-HpCB(#189)				0.0001		
Total コプラナーPCB		-	-	-	-	
Total ダイオキシン類		-	-	-	-	

- 備考 1 大気の測定結果を記入する場合には、単位をng/㎡ (毒性等量にあっては、ng-TEQ/㎡。)とし、水質の測定結果を記入する場合には、単位をpg/㎡ (毒性等量にあっては、pg-TEQ/㎡。)とする。
- 2 実測濃度の項において、検出下限以上定量下限未満の濃度は括弧付きの数字で記載すること。
- 3 実測濃度の項において、検出下限未満のものは"ND"と記載すること。
- 4 毒性等量は、定量下限未満の実測濃度を零として算出すること。
- 5 用語の定義は、日本工業規格K0311又はK0312によること。
- 6 整理番号は、測定結果が複数の場合に記入すること。

フレキシブルディスク提出書

年 月 日

都道府県知事 殿
市 長

届出者（報告者）氏名又は名称及び住所並びに法人にあってはその代表者の氏名 印

ダイオキシン類対策特別措置法第 条第 項の規定による届出（報告）に際し提出すべき書類に記載すべきこととされている事項を記録したフレキシブルディスクを以下のとおり提出いたします。

本提出書に添付されているフレキシブルディスクに記録された事項は、事実と相違ありません。

1. フレキシブルディスクに記録された事項

2. フレキシブルディスクと併せて提出される書類

- 備考
- 1 「ダイオキシン類対策特別措置法第 条第 項」については、当該届出又は報告の根拠条項を記載すること。
 - 2 フレキシブルディスクに記録された事項の欄には、フレキシブルディスクに記録されている事項を記載するとともに、二枚以上のフレキシブルディスクを提出するときは、フレキシブルディスクごとに整理番号を付し、その番号ごとに記録されている事項を記載すること。
 - 3 フレキシブルディスクと併せて提出される書類の欄には、当該届出又は報告の際に本提出書に添付されているフレキシブルディスクに記録されている事項以外の事項を記載した書類を提出する場合にあっては、その書類名を記載すること。
 - 4 用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
 - 5 氏名（法人にあってはその代表者の氏名）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあってはその代表者）が署名することができる。